

平成30年度「職員による学校評価」(最終)

※評価の目安 4:十分達成している 3:おおむね達成している 2:どちらかという達成されていない 1:ほとんど達成されていない

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	通し番号	選択者数				回答率				平均評価	3と4の割合	成果と課題	
					4	3	2	1	4	3	2	1				
(1)	教務関係	生徒募集に係る広報活動の充実	学力検査における1.2倍以上の志願倍率	学校紹介の資料及び情報の提供を積極的に行う	1	17	21	2	0	43%	53%	5%	0%	3.4	95%	生徒募集については、オープンスクールや生徒対象の学校説明会を3回実施した。(予定は4回だったが台風のため中止) また、HPなどによる行事のアピールや、昨年度に引き続き、生徒作成の学校CMなどで本校のよさをアピールすることができ、中学生が少なくなっている中志願倍率1.2倍をキープできた。 計画的な学校運営では、関係分掌、学年の協力で多少の問題もあったが、各行事を成功させることができた。今年度の問題を修正し、来年度はさらに良いものにできるように努力したい。 校務支援事務システムは昨年度に引き続き、修正しなければならない部分も多少見られたので、更なる業務の効率化のために考えていきたい。
		計画的な学校運営	1ヵ月前までの計画案提示	関係分掌や学年との連絡・調整を密に行い、行事計画などを早めに提示し、スムーズな行事運営に努める。	2	19	20	1	0	48%	50%	3%	0%	3.5	98%	
		情報の共有化		県庁サーバー・清峰サーバーを使い、情報の共有化を図る。	3	16	23	1	0	40%	58%	3%	0%	3.4	98%	
(2)	生徒指導関係	品性ある清峰生の育成	問題行動の予防	学年団、部活動、関係分掌との連携を図る 学年集会や全校集会での注意喚起を行う 毎朝の登校指導において積極的な声かけを行う	4	19	21	0	0	48%	53%	0%	0%	3.5	100%	・問題行動の予防という目標に対しては、全校集会時や行儀の前後に生徒指導主事から生徒に対する注意喚起を促すことなどで、問題行動発生件数は微減したが、生徒指導部まであがってこない程度の問題はいろいろと起こっている。引き続き全職員での指導が必要。 ・不良少年たちが学校周辺にバイクで度々出没し、とても迷惑した。今後もこういう事態が考えられるので、江迎警察署と連携をとりながら生徒の安全をはかりたい。 ・マナーの向上という目標に対しては、残置物の指導や保護者と連携した挨拶運動とMR乗車指導を行ったが、MR駅やバス停で待っている時の様子や自転車の乗り方などに対して数件外部から指摘を受け、校外指導に出たことがあった。生徒への注意を促したい。 ・今年度は校内だけでなく学校周辺のゴミ拾いを「0」のつく日に「ゼロ運動」に行い効果が上がったが、まだ校内では、ゴミの分別への意識がまだまだ低く、平日はもとより学校行事の際、掃除担当職員が大変な思いをしている。生徒だけでなく職員も反省しなければならない。
			マナーの向上	あいさつの励行、ロッカーや教室の残置物指導、定期的なMR乗車指導を行う	5	16	22	2	0	40%	55%	5%	0%	3.4	95%	
			校内の環境美化の向上	リサイクル及びごみ分別に対する意識の向上を図る ごみ0運動を実施する	6	14	26	0	0	35%	65%	0%	0%	3.4	100%	
(3)	進路指導関係	進路目標設定の支援	進路学習による進路意識の向上	進路講演会や進路ガイダンスを実施して進路意識を高めるとともに、個々の進路に有用な情報をタイムリーに提供する	7	20	18	2	0	50%	45%	5%	0%	3.5	95%	進路講演会や進路ガイダンスは計画的に実施できた。先生方に協力いただき、生徒の進路意識の向上に一定の成果があったのではないと思われる。加えて進路ミニ集会も実施し参加者も多かった。次年度も更に充実したものを提供していきたい。また、各種情報誌の配付やオープンキャンパス、校外の進路相談会など個々の進路選択に有用な情報の提供に努めた。次年度も多様な進路に対応できる情報提供を心がけたい。進路検討会では、生徒の学力把握や進路希望について情報の共有を図った。1年生は都合により開催できなかった。反省点である。次年度も教員・生徒双方により役立つ取り組みを目指したい。補習や模擬試験、面接指導は先生方の協力をいただき計画通り実施できた。特に3年生への個別指導、面接指導については学年を越え多くの先生方に熱心な取り組みをいただいた。多大なご負担をおかけしたが、生徒の特性を引き出す効果的な指導をいただき、合格・内定へと繋げることができた。今後も生徒・保護者の進路への思いや願いをくみ取りながら、生徒全員の希望進路実現に向けて効果的な進路指導を目指していきたい。
		生徒の志望や学力の把握	進路に関する検討会を実施し、各学年と連携して生徒の希望や学力を把握し、指導に役立てる	8	11	25	4	0	28%	63%	10%	0%	3.2	90%		
		進路目標達成率の向上	個に応じた進路指導	補習や模擬試験、面接指導などを計画的に行う	9	22	16	1	0	56%	41%	3%	0%	3.5	97%	
(4)	生徒会関係	学校行事の円滑な運営	生徒が主体となるような運営に努める。	各学年・分掌と連携して企画立案し、全職員への共通理解を図るとともに、生徒会役員・各種専門委員・部活動部長が中心となり、生徒主体の学校行事となるよう、指導体制を整える	11	20	19	1	0	50%	48%	3%	0%	3.5	98%	学校行事において、できるだけ生徒が主体となる運営を目指し、各分掌や各専門委員会・各学年などと共通理解を持ち、活動を行ってきた。その結果、円滑な運営ができるようになった。 学校行事の活性化という点では、先輩たちの伝統を受け継ぎながら、さらに良いものを築いてくれた。今年度は校長先生よりアドバイスをいただき表彰式のスタイルを変更し、さらなる飛躍を誓う表彰式へと改善された。
		学校行事の活性化	学校行事に積極的に取り組む生徒の育成	生徒会で企画する学校行事において、生徒の活躍の場を増やす。また、生徒会役員や各種専門委員の意見やアイデアを積極的に取り入れ、生徒に充実感や達成感を味わわせる	12	25	15	0	0	63%	38%	0%	0%	3.6	100%	

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	通し 番号	4	3	2	1	4	3	2	1	平均 評価	3と4の 割合	成果と課題	
(5)	こころと からだの 支援 関係	健康の保持 増進	保健管理の徹底	各種検診や日々の生徒対応により、個々の健康課題を早期発見し、適切な対応に努める。	13	30	9	1	0	75%	23%	3%	0%	3.7	98%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診後、特に学校歯科医より、歯科保健に関する多くの資料を提供していただき生徒達の関心を深めることができた。</li> <li>・保健委員会による熱中症対策・感染症予防活動に力を入れた。学年集会、講演会では「心の健康」について取り上げるなど、心身両面から健康について考える機会を設けた。委員会活動は、人のために役立つ経験を重ねることで、自他ともに健康を守るという意識や自覚が根付き進路選択の一助となっていると感じる。</li> <li>・各種検査後は、大きな問題になる前に、個々の相談にあたることができた。それぞれが抱える問題は、年々多種多様化している。必要に応じて関係職員で情報共有をしたり、ケース会議を開くことができた。</li> <li>・SC派遣事業を5回実施。多くの助言を受けたり、女性・子ども・障害者支援センターとの連携を通して、個別対応に努めた。担任や学年団と協力して、思うような支援ができたケースもあれば、生徒の抱える特性にうまく対応することが困難で退学や転学、課題保留となっているケースもあり、個のニーズに応じた相談・支援活動の難しさを痛感している。</li> </ul>
			保健教育の充実	各種広報活動や保健指導を通じて、健康や安全に関する意識の向上を図る。	14	29	11	0	0	73%	28%	0%	0%	3.7	100%	
		相談活動の 充実	実態把握と生徒理解	年に3回の「悩みやいじめの調査」や各種検査・面談を通して生徒理解に努める	15	26	13	1	0	65%	33%	3%	0%	3.6	98%	
			適切な個別支援	特別支援委員会や教育相談委員会の円滑な運営と、学年・他分掌、専門機関等との連携に努め、個々の支援に繋げる	16	23	16	1	0	58%	40%	3%	0%	3.6	98%	
(6)	図書研 修関係	読書教育の 充実	読書指導の推進	朝の読書『清心の時間』の際は、開始の時間を守って「3つの約束」を徹底させる	17	12	23	5	0	30%	58%	13%	0%	3.2	88%	<p>本校の朝の読書は、開始から15年が経過した。(1)机の上には何も置かない(2)私語をしない(3)居眠りをしない、という約束のうち(1)については徹底していない。また、課題(宿題)をする生徒も見られる。職員朝礼の時間帯に朝の読書が始まるという設定は、見直しが必要かと思われる。</p> <p>年間貸出し冊数は昨年度比106%であるが、入館者数は77%である。(2月末)掲示物や図書館だよりによる広報活動は行っているが、図書館利用の増加に結びつかないのが現状である。授業利用をさらに増やす呼びかけをしたい。</p> <p>平和教育については、HR委員を中心としたクラス活動と生徒会役員を中心とした全校取り組みを計画的に実施できた。</p> <p>職員研修については、先生方が協力的で校内外の研修に数多く参加していただいた。公開授業に関しては全員実施とはならず、方法の再検討も必要かと思われる。</p>
			図書館の利用推進	「清華伝承」「図書館だより」の発行や、図書委員会の活動を活性化することで、生徒の図書館利用(年間貸出2000冊)を推進する	18	7	28	5	0	18%	70%	13%	0%	3.1	88%	
		道徳教育の 推進	平和学習の充実	HR委員・生徒会役員を中心に、全校生徒が関わることができる平和学習の企画・運営に努める	19	21	19	0	0	53%	48%	0%	0%	3.5	100%	
		職員研修の 充実	教科指導面における研修の機会充実	全教職員を対象に、研究授業・公開授業・他校における授業参観を実施し、教科指導力の向上のための環境づくりに努める	20	13	23	4	0	33%	58%	10%	0%	3.2	90%	
(7)	総合推 進関係	総合学科教育の充実	産社・総学の円滑な運営支援	学年会で企画・立案を行い、学年団と協力して生徒が主体的に学習できるように支援する	21	24	16	0	0	60%	40%	0%	0%	3.6	100%	<p>学年会、を通じて、産社・総学の様々な行事について理解・協力を得ることができた。分掌会を定期的の実施し、諸行事を運営できた。産社・総学の時間については、推進部だけでなく各学年で係を決めて、推進部と分担して行うなど、運営の工夫が必要である。総合学科発表会や「清峰だより」などで、近隣学校や地域の方に広く教育活動を知ってもらうことができた。「清峰だより」については、リニューアルして見やすい紙面に一新することができた。</p>
		広報活動の 充実	学校だよりによる情報発信	開かれた学校づくりを目指して、年7回「清峰だより」を発行し、保護者、地域、中学校に配布する	22	25	14	0	0	64%	36%	0%	0%	3.6	100%	